

はる おとず っ 春の訪れを告げる

こんちゅう 昆虫たち！

二浦だより

第218号

自然教室の様子

(135)

発行者
清泉小学校
自然教室

モンシロチョウ



キタテハ



ナナホシテントウ



イボバッタ



ルリシジミ



この後、何度か脱皮して成虫になっていきます。ニンジン畑の片づけをしていると出てきたのはナナホシテントウです。こちらは、昨年2月の半ばに大量に現れていたもので少し遅い気がします。子どもの広場に広がるコバルトブルーのオオイヌフグリの葉と同じ色で飛び回っているのはルリシジミでした。

3月5日に啓蟄を迎えました。24節気は旧暦対応のためずれるのですが、今年暖冬のためまさに今、虫たちがうごめき始めています。畑や茶畑跡で見つけたのはキタテハです。夏型と秋型がいますが、オレンジ色が鮮やかな今の時期は秋型が越冬したと思われる。畑でタンポポからタンポポへと飛び交っているのはモンシロチョウです。自然教室にはありませんが、近隣の畑では、幼虫の食べるキャベツやアブラナが栽培されているので現れます。見回りの時に畑の畦でぴよんぴよんと何かが跳びはねています。目を凝らして見てみるとイボバッタの幼虫でした。この後、何度か脱皮して成虫になっていきます。ニンジン畑の片づけをしていると出てきたのはナナホシテントウです。こちらは、昨年2月の半ばに大量に現れていたもので少し遅い気がします。子どもの広場に広がるコバルトブルーのオオイヌフグリの葉と同じ色で飛び回っているのはルリシジミでした。